

ひとりを大切に みんなを大切に

☆腹赤小学校後期の人権教育の取り組み☆

今年度12月に行った「校内人権旬間」では、腹赤小学校全校児童で、「人権」について考えていました。各学級で学習したこと、感じたことを人権集会で発表し、それぞれ返しの手紙を書いていました。自分事として考えることができたという感想も見られました。今回の通信では、後期の腹赤小学校の人権に関する取り組みをお知らせします。

後期も前期に引き続き、教育相談前にアンケートを実施しました。その中に、

①腹赤小での生活は、楽しいですか。

②心配なことや相談したいことはないですか。

という質問がありました。腹赤小におけるアンケート結果は、

①とても楽しい、だいたい楽しい・・・96%
(前期96%)

あまり楽しくない、楽しくない・・・4%
(前期4%)

②ある・・・16% (前期15%)

ない・・・84% (前期85%)

①の結果では、前期と変わらない割合となっています。その中でもとても楽しいと答えた児童が多くなっていました。しかし、4%の児童は悩みや不安を抱えているのも事実です。その子ども達の心にも寄り添って、どうしたら学校生活を気持ちよく送れるか一緒に考えていました。

また、心配事の中には、友だち関係や勉強のことを心配している子の数が増えました。面談の際には心配事について深く話を聞いていました。今後の活動では進級、進学に向け、それぞれの学級でまとめの活動を行い、次のステージへ進めていけるよう支援していきます。今後も教育相談を定期的に行いながら、少しでも不安や悩みを解消できるように面談の時間を大切にしています。

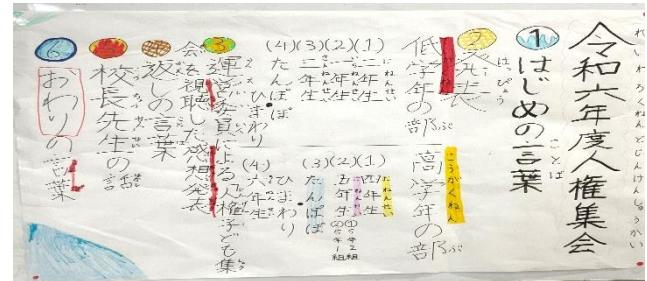
後期の縦割り活動では「ミニオリンピック腹赤」「大なわチャレンジ2025」を行いました。6年生や委員会を中心に子供主体で行いました。下学年は高学年を見て学び、高学年は下学年のお世話や、班を引っ張っていくことの難しさや楽しさを経験できたという振り返りがありました。笑顔いっぱい活動できている子ども達の姿があり、とても満足そうでした。このような取り組みを続けていく中で、友だちの良いところや新たな気づきなどを発見し、互いに繋がっていくことができればと思います。

子ども達はたくさんの行事をやり遂げる中で少しずつ伸びていきました。これも保護者の皆様の支えがあってこそ成長だと思います。子どもさんのことで気付かれたり、心配なことがあったりする場合は、いつでも学校までお知らせください。学校と家庭が手を取り合いながら、一緒に考えていきましょう。

腹赤小学校
人権教育通信
発行
R7年3月14日



コッコロ



低学年の部



高学年の部



熊本県人権子ども集会の

動画を視聴しての感想発表



きらりんといっしょに、自分のことや友だちのことを考えたり、見つめ直したりすることはできたかな。一人ひとりが真剣に取り組み、腹赤小を今よりもよくしていきましょう。